

鳥取県令和新时代創生戦略（第2期総合戦略）改訂までの経緯

- 第1期総合戦略の基本方針を継承・発展する形で、「鳥取県令和新时代創生戦略(第2期総合戦略)」を令和2年3月に策定。
- 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響、及び「鳥取県の将来ビジョン」の改訂（R2.10）等を踏まえ、鳥取県における新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性を打ち出す。

「鳥取県令和新时代創生戦略（第2期総合戦略）」策定（令和2年3月30日）

・第1期総合戦略（2015～2019年度）の成果を踏まえ、
2020～2025年度までの中期の地方創生施策の戦略（方向性）を決定。

新型コロナウイルス感染症の発生

感染症を受けて経済・社会が変容

「鳥取県の将来ビジョン」の改訂

「2030年の鳥取県の姿」の共有

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂

国が新たな地方創生の方向性を提示

【キーワード】

- ひと・もの・しごとの地方分散
- デジタル社会
- 脱炭素社会
- 安全・安心な観光
- 医療・検査体制の強化
- ニューノーマル対応ビジネス
- テレワーク など

「鳥取県令和新时代創生戦略（第2期総合戦略）」の改訂（令和2年度末）

・経済・社会の変化を捉えた、新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性を提示。

鳥取県令和新时代創生戦略（第2期総合戦略）改訂のイメージ

改訂の方向性

- ①感染症に強い地域づくり（経済・社会）
- ②感染症による意識・行動変容を踏まえた地方への新しい人・モノ・企業等の流れを捉える取組
- ③新たな経済・社会（デジタル社会、脱炭素社会）を見据えた取組の促進

主な改訂内容

地方創生の
目指す姿

とっとり創生による持続可能な地域社会の実現

地方創生の展開を通じてSDGsのゴール達成へ前進

基本方針

豊かな自然でのびのび
鳥取らしく生きる

鳥取+ism

人々の絆が結ばれた
鳥取のまちに住む

鳥取+住む

新たに項目を追加

幸せを感じながら鳥取の
時を楽しむ

鳥取+rhythm

※内容を追記・修正する主な項目

- 観光・交流
 - ・豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県
 - ・外国人が憧れる・訪れる鳥取
 - ・スポーツによる交流促進
- 農林水産業
 - ・農林水産業の活力増進
 - ・将来を担う若き担い手の活躍
- エコスタイル
 - ・地球規模での環境課題への対応
 - ・海洋・森林等の環境保全と利活用の推進
- 出会い・子育て
 - ・結婚・出産・子育ての希望を叶える
 - ・地域で子育て世代を支える
- 人財とっとり
 - ・未来を拓く人づくり
 - ・地域を支える人財の育成
 - ・女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり
- 支え愛
 - ・絆を活かした中山間地域・まちなか振興
 - ・健康寿命の延伸
- 移住・定住
 - ・「移り住みたい」「住み続けたい」「帰りたい」鳥取県
 - ・関係人口の拡大
- 働く場
 - ・次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大
 - ・戦略的な産業人材の育成・確保
 - ・自らの能力を発揮できる働き方の実現
- まちづくり
 - ・暮らしやすく元気になるまちづくり
 - ・アート・文化による地域づくり
 - ・強靱な防災基盤の構築
 - ・持続可能なインフラ整備や行政運営

主な改訂キーワード

- ・安全・安心な観光地としての誘客促進
- ・マイクロツーリズム、アウトドアツーリズムなど新たな観光需要への対応
- ・ICT普及（GIGAスクール構想）を踏まえたICT活用教育の更なる推進
- ・感染症に係る誹謗中傷を含む差別的言動等の防止
- ・医療・検査体制の強化など、感染症に強い地域づくり
- ・大都市圏をターゲットとした人・モノ・拠点分散の新しい流れの取り込み
- ・ニューノーマルに対応するビジネス転換の促進
- ・デジタル改革（DX）による生産性向上
- ・脱炭素社会実現に向けた研究開発及び産業の創出
- ・テレワークなど新たな働き方への対応
- ・ICTを活用した文化芸術の発信
- ・行政手続きのデジタル化

政策分野

| | | | |
|------------|--------|-------|---------------|
| 目指す計画期間後の姿 | 取組の方向性 | 具体的施策 | 重要業績評価指標（KPI） |
|------------|--------|-------|---------------|